

										DPとの関連										
ナンバリング	段階	科目群	科目名	必修 /選択	履修 年次	講義 /演習	単位 数	開講 期	遠隔 授業	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標	前提科目
SIK90-1-001	入門	資格	教師論	必修	1	講義	2	前後期		70			30			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	本科目は、大学の教職課程の入門授業として位置づけられている。授業を通して、(1)教職の意義および教員の役割、(2)教員の研修や服務、身分保障等、職務内容、(3)学校が内外の専門家等と協力しつつ子どもの指導にあたっていく体制、(4)自らの進路として教員を目指すための方法の4点について、講義やグループワークを通して深く学んでいく。	教育現場を想定したり、教育経験を振り返ったりしながら、自ら必要な教材や資料を集め、活用することができる。	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。	
SIK90-2-002	基礎	資格	教育原理	必修	2	講義	2	前後期		70			30			教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	本講義の内容としては、1)日本及び諸外国の教育に関する歴史や思想、2)学校教育の基本的な原理及び方法を踏まえた上での教育の意義・目的・理念の理解、3)現代の学校教育をめぐる問題について学び、考えていく。これらの項目について、単に知識と知るだけでなく「なぜ～なのか?」と問いかけをもち、他者と対話しながら考えることで、教育に関する教養の裾野を広げてほしい。	教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを十分に理解する。	教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。	
SIK90-2-003	基礎	資格	教育心理学	必修	2	講義	2	前後期		70			30			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。	・幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を十分に理解する。 ・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を十分に理解する。	・幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。 ・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。	
SIK90-2-004	基礎	資格	特別支援教育概論	必修	2	講義	2	前後期		70			30			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を学修する。	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を十分に理解する。 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を十分に理解する。 ・障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難とその対応を十分に理解する。	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。 ・障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難とその対応を理解する。	
SIK90-2-005	基礎	資格	教育制度論	必修	2	講義	2	前後期		70			30			教育に関する制度的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	本授業では、日本の学校制度・教職員制度・教育行政の基本について理解することを第一目的とする。その上で、社会の状況や教育制度や教育行政の根拠となる教育法規の理解をし、学校を取り巻く様々な現代的課題について検討する。本授業を通して、教職員免許を取得する者として知っておくべき教育制度の基礎的概念とその論点を押えることを第二目的とする。日本の学校法制度の基本を俯瞰するとともに、地域と学校の連携や学校保全などの学校を取り巻く様々な現代的課題を具体的な事例をもとに検討する。	現代の学校教育に関する制度について基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解し、どのようにあればよいか、多様な視点に立って考えることができる。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。	現代の学校教育に関する制度について基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。	
SIK90-2-006	基礎	資格	教育課程論	必修	2	講義	2	前後期		70			30			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。教育課程に関する基本的な概念や編成原理を理解したうえで、日本における教育課程の歴史的変遷や海外のカリキュラムの展開、ならびに現代の教育課程編成と授業づくりの方法についての具体的な取り組みを検討する。	・学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を十分に理解する。 ・教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を十分に理解する。 ・教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を十分に理解する。	・学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 ・教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 ・教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。	
SIK90-2-007	基礎	資格	道徳教育の理論と実践	必修	2・3	講義	2	前後期		50				50		道徳教育の目標と内容を理解し、実践的な指導力を習得する。	道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳教育の意義や歴史などの理論から、実際の学校における道徳教育についての実践的な部分までを扱う。また、道徳の時間の指導案の作成についても学び、道徳教育や道徳の指導法の理解を深める。	道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を十分に理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。	道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。	
SIK90-2-008	基礎	資格	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修	2・3	講義	2	前後期		50				50		特別活動の指導法および総合的な学習の時間の指導法を習得する。	・特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々な行われる活動の総体である。学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。 ・総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。	・特別活動の意義、目標及び内容を十分に理解する。 ・特別活動の指導の在り方を十分に理解する。 ・総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 ・総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を十分に理解し、そのスキルを習得する。 ・総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を十分に理解する。	・特別活動の意義、目標及び内容を理解する。 ・特別活動の指導の在り方を理解する。 ・総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 ・総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、そのスキルを習得する。 ・総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。	
SIK90-2-009	基礎	資格	教育方法(通信情報技術の活用含む)	必修	2	講義	2	前後期		70			30			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法をめぐる理論や実践について概観する。主として、教育学における方法論的な議論のほりから、さまざまな実践活動、そして現代の授業の方法や技術、あわせて情報機器や教材の活用について学ぶ。講義で取り上げる教育方法に関する基本の把握を求める。	・これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法を十分に理解する。 ・教育の目的に適した教育技術を十分に理解し、身に付ける。 ・情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。	・これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法を理解する。 ・教育の目的に適した教育技術を理解し、身に付ける。 ・情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。	
SIK90-2-010	基礎	資格	生徒・進路指導論	必修	2・3	講義	2	前後期		70			30			生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	・生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。 ・進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける。	他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付け、自分なりの対応を考えたり、適切な支援を求めたりすることができる。	他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。 進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。	

										DPとの関連										
ナンバリング	段階	科目群	科目名	必修 /選択	履修 年次	講義 /演習	単位 数	開講 期	遠隔 授業	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標	前提科目
SIK90-2-011	基礎	資格	教育相談	必修	2・3	講義	2	前後期		70			30			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校現場における教育課題は、不登校やいじめなどの問題をはじめ、発達に課題のある生徒や養育困難な保護者の対応など多岐にわたる。本講義では、生徒のケアのための基礎的な知識と方法、そして予防・開発的教育相談について理解を深める。またカウンセラーなど専門機関とのチーム援助活動や不登校の生徒の支援方法についても体験的に学び、実践力を養う。	幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を十分に身に付ける。	教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。	
SIK90-2-012	基礎	資格	美術科教育法1	必修	2	講義	2	前期		50				50		美術科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) 「美術科の教育目標と学習内容の理解」	中学校・高等学校の学習指導要領に基づきながら、教科の意義と目標を理解し、どのように授業内容を構築していくかを考察する。また、美術教育の理論や歴史、領域やその内容を学び、学習指導要領における表現領域や鑑賞領域の学習内容と指導事項について基礎的な理解を身に付ける。	学生が中学高等学校教育における美術教育の意義を教科学習と人格形成の両面から考察し、授業からの学びを基に自分の考えをまとめることができる。さらに社会の今日的課題や社会に求められる人間形成に美術教育がどのように関われるかを自分なりの考えを持って、今後の授業実践に生かしていくことに対して強い意欲を持つことができる。	学生が中学校・高等学校における美術科の目標を理解し、その学習内容の背景となる理論について、美術教育史を通して学び、理解することができる。	
SIK90-2-013	基礎	資格	美術科教育法2	必修	2	講義	2	後期		50				50		美術科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) 「表現及び鑑賞教育の観察と体験による理解及び美術科における授業設計」	表現教育と鑑賞教育やその相互が関連づけられた授業題材について体験的に学び、その理論と実践を理解する。また、学習指導要領に基づいた題材開発と授業設計の実際を知り、中学校美術科学習指導案の作成とプレゼンテーションを行う。	学生が題材開発と授業設計の実際について、その多様性と生徒の教科としての学びと心情的な豊かな成長のあり方について、多くの授業実践の観察から自分らしい深い見方で、授業観察を基にその分析についてコメントし、自分や仲間との授業設計に対して強い関心や意欲を持つことができる。	学生が中学校・高等学校における美術科の目標を理解した上で、表現教育と鑑賞教育やその相互が関連づけられた根拠のある授業題材の実際を知ることができる。また、学習指導案を作成することを通じ、学習指導要領に基づいた題材開発・授業設計を知ることができる。	
SIK90-3-018	発展	資格	美術科教育法3	必修	3	講義	2	前期		50				50		美術科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) 「中学校及び高等学校における絵画・デザインに関わる教材研究と具体的な授業設計」	絵画・デザインに関わる教材を研究し、学習指導要領に基づいた授業設計を試みる。さらに作成した学習指導案に基づき、模擬授業を行うことで、実践的な授業力を向上させる。	学生が仲間と協力して、学習指導要領に基づいた授業設計や作品試作に対して強い意欲を持って臨み、真摯な姿勢で実施授業の振り返りを行っている。さらに他の模擬授業に対しても強い関心を持って授業観察と分析を行い、自分の観点により深い見方ができる。	学生が絵画・デザインにおける表現と鑑賞について、教材研究を通して授業設計ができる。さらに模擬授業などを通じて、実践的な指導法を身に付けることができる。	
SIK90-3-019	発展	資格	美術科教育法4	必修	3	講義	2	後期		50				50		美術科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) 「中学校及び高等学校における彫刻・工芸に関わる教材研究と具体的な授業設計」	彫刻や工芸に関わる教材を研究し、学習指導要領に基づいた授業設計を試みる。さらに作成した学習指導案に基づき、模擬授業を行うことで実践的な授業力を向上させる。	学生が、仲間と協力して学習指導要領に基づいた授業設計や作品試作に対して強い意欲を持って臨み、真摯な姿勢で実施授業の振り返りを行っている。さらに他の模擬授業に対しても強い関心を持って授業観察と分析を行い、自分の観点により深い見方ができる。	学生が彫刻と工芸分野における表現と鑑賞について、教材研究を通して授業設計ができる。さらに模擬授業などを通じて、実践的な指導法を身に付けることができる。	
SIK90-2-014	基礎	資格	絵画基礎演習	選択	2	演習	2	1Q 3Q		50				50		絵画分野の基礎を身につける。 「見る・感じる・描く・考える」	基礎的なデッサンやスケッチの技法を習得するとともに、描くという行為を現代的な視点で見つめ直す機会とすると共に、絵画表現の今日的な可能性を制作実践を通して探究する。	学生が基礎的な技術の習得に努め、自己表現としての絵画的分野の表現を深く探求しながら作品化し、更にそこから中学高等学校の題材への可能性を探ろうとする強い意欲を持つことができる。	学生が絵画表現に関する発想、構想を基に創造的に表す技能を身につけることができる。	
SIK90-2-015	基礎	資格	彫刻基礎演習	選択	2	演習	2	1Q 3Q		50				50		彫刻表現の基本的な要素である量や塊を意識しながら、様々な手法と思考を織り交ぜ、いくつかの課題を通して、その作業の積み重ねから表現力を高める。また、その形成されたフォルムと空間との関係性や見え方、あり方を学ぶとともに、独自の表現の可能性を探り、立体表現の魅力を知ることを目指す。	学生が、基礎的な技術の習得に努めながら、自己表現としての彫刻的分野の表現を深く探求しながら作品化し、更にそこから中学高等学校の題材への可能性を探ろうとする強い意欲を持つことができる。	学生が彫刻表現に関する発想、構想を基に創造的に表す技能を身につけることができる。		
SIK90-2-016	基礎	資格	デザイン基礎演習	選択	2	演習	2	1Q 3Q		50				50		デザイン分野の基礎を身につける。 「生活や社会に楽しさや優しさをもたらす人間関係を豊かにするデザイン教育」	学校教育の視点でデザインのあり方について、講義や演習を通して考えていく。美術教育における形や色彩などの造形要素を動きや、発想や構想する力の育成、学校教育におけるデザイン教育の現状と課題などを学び、学校での授業を想定した課題制作を通して、指導方法や評価方法の工夫、授業における技法、材料や用具の特性などの知識などを身に付け、美術教育の実践的な指導力へとつなげていく。	学生が基礎的な技術の習得に努めながら、社会や生活におけるデザインのあり方を深く考察しながら作品化し、更にそこから中学高等学校の題材への可能性を探ろうとする強い意欲を持つことができる。	学生がデザイン表現に関する発想、構想を基に創造的に表す技能を身に付けることができる。	
SIK90-2-017	基礎	資格	工芸基礎演習	選択	2	演習	2	1Q 3Q		50				50		工芸分野の基礎を身につける。 「型染・ある時代の文様」	学校教育において「工芸」という教科に求められる資質と能力について理解し、幅広く指導できる知識と技術を身につける。素材の基本知識や扱い方を制作を通して学び、オリジナルの図案をデザインしたうえで、型染の技法を用いてハンカチを制作する。完成させた作品を鑑賞、プレゼンテーションを行い工芸授業の開発につなげる。	学生が基礎的な技術の習得に努めながら、社会や生活における工芸品やモノのあり方を深く考察しながら作品化し、更にそこから中学高等学校の題材への可能性を探ろうとする強い意欲を持つことができる。	学生が工芸表現に関する基礎的な技能、知識を理解し、実際に制作することを通して体験的に技術を学び取る事ができる。さらに学校教育において幅広く工芸を指導できる知識と技術を身につけることができる。	
SIK90-4-020	応用	資格	教育実習	必修	4	実習	5	通年集中		20				40	40	学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育者としての基礎的な能力と態度を身に付ける。	教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題などを省察するとともに、教員免許状習得すべき知識や技能等について理解する。	・学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、実践することができる。 ・学習指導に必要な基礎的技術(話し方・板書・学習形態・授業展開・環境構成など)を実施に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。 ・教育実習校の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解している。 ・学級担任や教科担任等の補助的な役割を理解し、担うことができる。 ・教育現場(実習先)において、求められる授業や授業準備だけでなく、自ら教員としてどう行動すべきかを考え、実行することができる。	・学習指導要領及び生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、実践することができる。 ・学習指導に必要な基礎的技術(話し方・板書・学習形態・授業展開・環境構成など)を実施に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。 ・教育実習校の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解している。 ・学級担任や教科担任等の補助的な役割を理解し、担うことができる。	美術科教育法1／美術科教育法2／美術科教育法3／美術科教育法4
SIK90-4-021	応用	資格	教職実践演習	必修	4	演習	2	前後期		50				50		教職課程における学びの軌跡の集大成(教員に求められる資質能力の確認)。	本科目は教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通して、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、本学における教員像や到達目標(ディプロマ・ポリシー)などに照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられる。将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるよう準備を行う。	・自己の課題を認識し、自己研鑽に励み、教員としての役割を果たすことができる。 ・学校における社会性や対人関係能力(他の教職員への対応、保護者に対する接し方)を習得している。 ・生徒に公平かつ受容的な態度で接し信頼関係を築き、特性や心身の状況を把握しながら学級経営を行うことができる。 ・教科の学習指導の基本的事項(教科等の知識や技能など)を身に付け、生徒状況に応じて授業計画や学習形態等を工夫することができる。 ・教育現場を想定し、複数の教育方法や考え方の中から、最適なもの選んだり、組み合わせたりしながら、自分がどう振舞えばよいかを考えることができる。	・自己の課題を認識し、自己研鑽に励み、教員としての役割を果たすことができる。 ・学校における社会性や対人関係能力(他の教職員への対応、保護者に対する接し方)を習得している。 ・生徒に公平かつ受容的な態度で接し信頼関係を築き、特性や心身の状況を把握しながら学級経営を行うことができる。 ・教科の学習指導の基本的事項(教科等の知識や技能など)を身に付け、生徒状況に応じて授業計画や学習形態等を工夫することができる。	